

東京大学での所属学部/研究科・学年(プログラム開始時):

参加プログラム: 全学交換留学 派遣先大学: 清華大学

卒業・修了後の就職(希望)先: 1.研究職 2.専門職(医師・法曹・会計士等) 3.公務員 4.非営利団体

5.民間企業(業界:建設、インフラ、都市開発) 6.起業 7.その他( )

派遣先大学: 清華大学

氏名: 商増穎

学科・専攻: 工学系研究科都市工学科

学年: 修士2年

派遣期間: 2014年2月18日～2015年2月24日

#### 派遣先大学の概要

中国では、文系の北京大学、理系の清華大学と認識されている最高学府であり、各界に人材を輩出してきた。1911年設立。

キャンパスがとても広く、「フォーブス」の最も美しい大学キャンパスランキング14校に、アジアから唯一選ばれている。その中で、「キャンパスの建築物はバラエティに富み、歴史的な背景を有しており、清華園の景色は散文のような美しさ」としている。

#### 留学した動機

・語学力の向上

・自分の研究分野において、派遣先大学にその分野で著名な先生がや進行中のプロジェクトがあったので、それに参加したかった。

#### 留学の準備

##### ①留学先大学への入学手続き(手続きにあたってのアドバイスなど)

レジストレーションの日に事務室にいけば、ボランティアの学生などがおり、分かりやすく誘導してくれます。

##### ②ビザの手続き(ビザの種類、申請先、手続きに要した時間、ビザ申請にあたってのアドバイスなど)

ビザは必要なかったため、詳しいことは分かりません。

##### ③医療関係の準備(出発前の健康診断、常備薬、予防接種等)

##### ④保険関係の準備(加入した海外旅行傷害保険・留学保険等)

東京海上

現地で病気になった時、保険に入ってよかったなと思いました。

日本語対応でかつ指定病院ではキャッシュレでもらえるので、助かります。

⑤留学にあたって東京大学の所属学部・研究科で行った手続きなど(履修・単位・試験・論文提出等に関して)留学の申請書類を提出し、面接がありました。

⑥語学関係の準備(出発前の英語レベル・語学学習等)  
TOEFlBTを受けました。

⑦日本から持参した方がよいもの、その他出発前にやっておくべきこと・アドバイスなど

1 年間は意外とあっという間で、留学の最初はどたばたしているうちに時間がたつので、やりたいことリスト(現地でインターンに参加するとか現地の友達を10人作るとか小さいことでもいいので)や目標を書いておくといいと思います。寮の申請は絶対にした方がいいと思います。清華大学は、近年留学生の数がとても多くはやめに寮の申請をしないと、満員になってしまうようなので、ネットでアプライする際は時間に注意してください。

## 学習・研究について

①履修した授業科目のリスト(授業を履修した場合)

※そのうち、帰国後東京大学で単位認定の申請を行ったものに●をつけてください。

- Architectural Fine Arts(4)
- The practical skills on Speech and eloquence  
History of Ancient Chinese City Planning and Construction
- Research of Vernacular Settlements
- Conservation of Cultural Heritage  
Theory and Practice of Regional Architecture
- Chinese writing(3)
- The Theories on Contemporary Architectural Design
- Journalism Photography

②留学中の学習・研究の概要(授業・予習・復習のスタイル、印象に残っている授業等)

演説(中国語)を学ぶ授業が面白かったです。

・英語での専門科目の授業(現地の学生と留学生向け)  
・留学生と一緒に専門科目授業(この場合、韓国人留学生が多いですが中国語で外国人向けに授業を行うため、内容が少し簡単で分かりやすいものが多いです)  
・主に現地の学生向けの専門科目の授業と  
・留学生向けの中国語を勉強する授業  
と4パターンあります。せっかく総合大学に留学に来ているので、語学に加えて専門分野の授業や他の分野の授業も履修してみると友達も増えて面白いと思います。

また、学期の始まった1カ月後くらいに自分に合わないと思った授業の履修をキャンセルする手続きが出来ます。

③1学期あたりの履修科目・単位数、週あたりの学習・研究時間(授業時間・授業以外の学習時間)など

一学期に8単位くらい履修しました。

また、インターンシップにも参加しました。

④学習・研究面でのアドバイス

学生や先生は基本的にとても親切なので、分からなかったことはすぐに質問すると思います。

⑤語学面での苦勞・アドバイス等

中国は広いですので、様々な方言があります。ご高齢の先生の場合、必ずしもなまりのない標準語(北京語)を話すわけではないので、聞き取るのが少し難しかったです。

## 生活について

①宿泊先(種類(寮・ホームステイ・ルームシェア等)、家賃、宿舎の様子、見つけた方法など)

事前に大学のウェブサイトから校内の寮にアプライしました。選択肢は、1人部屋(お風呂トイレなどもついている完全個室型)か2人部屋(2人で1部屋使い、お風呂トイレは階で共有)、AB部屋(2DKか2LDKのようなもので、一人の個室があり、2人でお風呂トイレをシェアする。2人とも留学生の部屋と、1人留学生、1人現地の中国人学生の部屋があり選択出来る。1人留学生、1人現地の中国人学生の部屋は 2014 年よりはじまった新しいプログラムで、広いリビングが付いている。)

②生活環境(気候、大学周辺の様子、交通機関、食事、お金の管理方法(海外送金・クレジットカード)など)

冬は外はマイナスとなり寒いですが、北国なので室内が暖かく、寮や教室ではTシャツ一枚くらいでも過ごせます。周辺は北京大学や人民大学がある五道口という学生街で、多くのレストランやバーがあり、学生でいつもにぎわっています。北京の街の中心までは電車で1時間ほどかかります。食堂が校内にたくさんあり、食堂で食べる場合は1日15~20 元くらいで3食食べられます。

**③危機管理関係(留学先の治安、医療機関の事情、心身の健康管理で気をつけた点など)**

北京は治安が良い街で、安心して出歩けるが、人の多い駅などではスリに注意する必要があると思います。特に冬場は日によって大気汚染が激しいので、そういった日は皆マスクをしています。

保険に入ると、日本語サービスのある日系の病院でスムーズに診察できます。(校内にも病院がありますが、病気の時くらい日本語を使えると安心します。)

**④留学に要した費用について(航空賃、授業料、教科書代、家賃、食費、交通費、娯楽費などの概算)**

**・毎月の生活費とその内訳**

8万円前後 (5万円:寮費用、1.5万円:食費、5000円:携帯代や交通費、日用品など、1万円:本や模型材料、旅行、娯楽費その他)

**・留学に要した費用総額とその内訳**

150万円前後

20万円:往復航空券、100万円:毎月の生活費(④参照)、30万円:休暇中の旅行費、電気製品など

**⑤奨学金(受給していた場合は、支給機関・支給額・見つけた方法など)**

JASSO日本学生支援機構 (月6万円)

**⑥学習・研究以外の活動(スポーツ・文化活動、ボランティア・インターン、週末や長期休暇の過ごし方など)**

9割以上の学生が大学内で寮生活をしているので、歌のコンテスト、ダンスのコンテスト、映画祭、スポーツイベント、講演会など週末や夜に校内でたくさんのイベントがあります。私は民族舞踊のダンスサークルに参加し、毎週土曜日練習に参加しました。また、日本のJ-POPを紹介するダンスサークルの立ち上げ、リーダーも務め、学内外の様々なイベントに参加してダンスを踊りました。また、夏休みは3カ月ととてもながく、建築の設計事務所と保全局の二つのインターンシップに参加し、残りの時間は中国の地域を着たから南まで列車でゆっくり旅行してまわりました。

**派遣先大学の環境について**

**①留学生へのサポート体制(語学面・学習面・生活面・精神面でのサポート等)**

バディプログラムに申請すると、留学生一人につき、現地の学生がついてくれて、通訳や言葉を教えてくれたり、日常生活の手助けをしてくれます。

**②大学の設備(図書館・スポーツ施設・食堂・PC環境等)**

ほとんどが寮生活をしているので、銀行、携帯電話会社、生活用品のスーパー、美容院、公園と学内になんでもあります。

スポーツ施設(テニスコート、バドミントンコート、プール、ジムなどがあり、一部有料のものもありますが、安く使えます。ダンスやヨガの教室などもあります。)

キャンパス内に食堂も20個くらいあり、中国全土の様々な地域の料理を楽しむことができます。ムスリム用の食堂もあります。

**留学と就職活動について**

**① 就職活動を既に行った場合)留学が就職活動に与えた影響、メリット・デメリットなど**

特にデメリットはないと思います。

**②(今後就職活動を行う場合)留学が就職に対する考え方に与えた影響**

留学先でも、日本の大学のOB会に参加すると様々な会社で働いていらっしゃる先輩方にお会いできます。そこで、お話をお伺いしたり、実際に現地の会社にお伺いしたりすると、日本で行うOB訪問とはまた違った視点から、将来を考えることが出来ます。

**③留学中の就職活動への対策など(もしあれば)**

ウェブサイトをこまめにチェックする。日本にいる友達に聞く。

**④就職が決まっている場合は、差し支えない範囲で就職先をお知らせください**

1.研究職 2.専門職(法曹・医師・会計士等)(職名: ) 3.公的機関(機関名: )

4.非営利団体(団体名又は分野: ) 5.民間企業(企業名又は業界:建築組織設計事務所 )

6.起業(分野: ) 7.その他( )

**留学を振り返って**

**①留学の意義、留学を通じて成長したこと、その他留学を通じての所感**

新しい世界が開けます。様々な価値観を持った人々にであることが出来、とても楽しいです。中国は人口が多く、例え小さな学内の発表やショーへの参加でさえも、厳しい選抜があったりと待っていると機会が何も自分にまわってきません。そのため、ちゃんと主張をする、自分の意見を皆に分かってもらえるように説明するなど機会を大切にすることが出来ました。

**②留学後の予定**

修士論文

**③今後留学を考えている学生へのメッセージ・アドバイス**

留学を考えている場合は、迷わずにぜひ挑戦するだけの価値があると思います。

**その他**

**①準備段階や留学中に役に立ったウェブサイト・出版物**

**② その他東京大学のホームページ・出版物等に掲載してよい留学中の写真があれば添付してください。**

